

【今号の特集】

- 「たかはら自然塾」紹介
- ひたち子育て情報
- 日病に救命救急センター新設
- 救命講習レポート
- 教えて子育て in ひたち
- ひたち子育て in 外へ
- いばらきマカド協賛講座紹介

ひたちで遊ぼう！①たかはら自然塾

十王町高原にある『たかはら自然塾(たかはら自然体験交流施設)』は、様々な体験や宿泊が出来る施設です。今回は、「ちょっとだけ体験」メニューのひとつ、「ピザづくり」をご紹介します。



ピザの生地からピザソースまで全て手作り！まずは生地作りから。みんなで力を合わせて捏ねます。しっかり捏ねたら発酵です。その間、施設の庭の遊具で遊んだり、動物と触れ合ったりできます。(ヤギがとっても人懐っこかったですよ)

発酵が終わったらソース作りと生地を伸ばしてトッピング。野菜やベーコンなど、たくさん載せました。チーズもたっぷりトッピングが終わったら外へGO！

本格的な石窯に入れて焼きます。焼き時間はなんと3分！！チーズがほんのり焦げてイイ感じに♪味はもちろん最高です\(^o^)/



ピザ作りの他に、「蕎麦打ち」「こんにやく作り」「ダンボールクラフト」など様々な体験が出来ます。(季節により内容が異なるので要確認。申込みは一週間前まで) 小さな子どもから大人まで楽しめる体験ですので、ぜひ遊びに行ってみてはいかがでしょうか。

日立市十王町高原 396-1 ☎(39)5391 <http://www.takahara-shizenjyuku.com/>

■ 1 ■

プチ TeaTime

【絵(イラスト)募集】

就学前のお子さまの描いた絵を、すくすくプチに載せてみませんか？  
《タイトル・お子さまの名前・年齢・保護者の住所、氏名、電話番号》を記入。  
紙は何でもOKです。広告の裏の傑作も大歓迎！デジタル撮影したメール添付もOKです。なお、掲載は1色刷りですので、ご了解ください。

【「教えて子育てinひたち」アドバイス募集】

P3の質問1・2へのアドバイスをお寄せください。  
《住所・氏名・電話番号・ペンネーム》を記入。

【テーマ募集】

市内の興味のあるお店や行ってみたい施設、インタビューして欲しい人、イベントなど、取り上げてほしい情報をお寄せください。

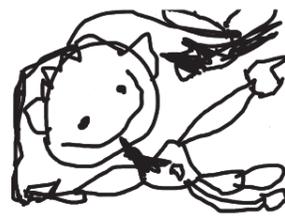
☛連絡先 ☒メール or 郵送 or ファックスにて  
「日立市こども福祉課」へお送りください。  
お待ちしております!! (※下記問合せ先参照)



「花火」  
かこまゆなちゃん(5才)



「夏野菜」  
ひらやまよしのちゃん(2才)



「仮面ライダー」  
ふくちひできくん(5才)

ご協力ありがとうございました!

日立総合病院様、「プレビボウル」阿部様、「シュープラザ」加藤様、たかはら自然塾・日立市消防本部の皆様、取材や情報提供にご協力いただき、ありがとうございました。

【編集部から】親になって初めて親の気持ちが分かるもの。先日、3歳になった長女の七五三写真撮りをしました。衣装は私が3歳に着た着物。可愛いその姿を見て、三十何年?前に私の母の感じた喜びがよくわかりました。後日、娘から孫へ受け継がれた着物姿の写真をプレゼントすると母は嬉しそうでした。(福地)

【発行】日立市 日立市ホームページ <http://www.city.hitachi.ibaraki.jp/>  
ひたちすくすくガイド <http://www.city.hitachi.ibaraki.jp/index.html?id=14>  
【編集】ひたち子育て情報探検隊：白石由香利 大宝梨恵 綿引未来 古史英理 駒木根由美 鈴木麻沙子  
所佐知子 福地美喜 相田愛 仁田美美子 平山美雪  
【問い合わせ先】日立市保健福祉部こども福祉課 〒317-8605 日立市助川町1-1-1  
☎0294-22-3111(内線323) IP☎050-5528-5071 FAX0294-22-3011 ☒syoshi@city.hitachi.lg.jp



■ 5 ■

ひたち子育て情報

目病に救命救急センターが新設されます

日立総合病院では、県北地域における医療体制を強化するため、日立創業100周年記念事業の一環として、救命救急センターを建設しており、今年10月下旬に運用開始されます。これは県北地域では初めてとなる施設であり、4階には産科病棟エリアも整備されます。今回は、私たちママ世代の気になる『救命救急センターと産科』について、お話を伺ってきました。



救命救急センター

特徴は？

- 三次救急医療に対応します!(県北地域で初☆)

日本の救急医療体制は、「重症度」に応じて3段階体制をとっています。

- 一次救急 …入院治療の必要がなく、外来で対処しうる帰宅可能な軽症患者に対応する救急医療。
- 二次救急 …入院治療や手術を必要とする重症患者に対応する救急医療。
- 三次救急 …二次救急まででは対応できない一刻を争う重篤な救急患者に対応する救急医療。

重症および複数の診療科領域にわたる患者に対し、最も高度な医療を総合的に提供します。



- 救急車の専用出入口ができます!

市道から直接乗り入れる構造で、一般車と交錯することなく、救急車を受け入れる際の安全性が向上します。(救急車を同時に3台受け入れられる構造)

小児救急に関する対応に変化は？

今までと同じです。

救命救急センターができることで外来にかかる時間が増したりするの？

日中の外来は今と変わりません。ただし時間外に関しては、軽症の方が現状より増加すると、救命救急医療が適切に行えない可能性も出てくると思われます。三次救急の役割、また、地域の救急医療を維持していくためにも、「軽症の場合は、かかりつけ医や夜間・休日の当番医を受診する」等、適切な受診に対する地域の皆様のご理解とご協力が必要です。

産科

特徴は？

- 救命救急センター 4Fに、分娩室・陣痛室・6室の個室が新しく整備されます。個室は木目調の温かな雰囲気です。
- WHO(世界保健機関)とUNICEF(国連児童基金)が定める『母乳育児を成功させるための10か条』に基づいたケアを行っています。生まれた瞬間から母子同室にして母子の絆を深め、母親力も育てていく。そして退院後も「母乳育児外来」でフォローしています。(「母乳育児外来」は他院で出産した人も受診できます!)



どのような妊婦を受け入れてくれますか？

現在と同様、ローリスクの妊婦さんのみです。ただし新生児対応可能な医師もおり、当院にかかっている妊婦さんが緊急出産された場合も35週目以降の新生児ならば他院への搬送が回避でき、小児科と連携して、赤ちゃんとお母さんを離さないで医療を提供しています。

今後は？

現在休止中の「茨城県地域周産期母子医療センター」の早期再開、そして将来的には、最も高度な周産期医療を行う「総合周産期母子医療センター」の運営実現を目指します。

私たちが日立総合病院にかけている期待と信頼は、実際大きいものですよ。取材を行ってみて、医療を施されることは当たり前のごとく、医療を施す側の思いを考えもしていなかった自分に気づきました。医療は病院とその地域住民と行政とが相互に理解を深めて意見交換を行いながら、全体で担っていかなければいけないのだな、と実感しました。(古曳)

イベント  
お知らせ

いいお産の日 快適お産・おっぱいライフ in 日立

【日時】10/20(土)10:30~14:00 【場所】日立メディカルセンター看護専門学校(市役所臨時庁舎山側)  
【内容】出産ショー、マタニティヨガ、ベビーマッサージ、おっぱいの話、母子なんでも相談など  
【問合せ】☎59-3200(日立メディカルセンター看護専門学校) ※参加無料・予約不要  
【主催】(社)日本助産師会茨城県支部県北ブロック

詳細は  
10月5日号市報で

■ 2 ■

